記入例：長男名義の預金が被相続人の財産である場合

遺産分割協議書

被相続人　Ａ
出　　生　　昭和〇年〇月〇日
死　　亡　　令和〇年〇月〇日
最後の本籍　　〇県〇市〇町〇丁目〇番地
最後の住所　　〇県〇市〇町〇丁目〇番地〇

被相続人Ａ（以下「Ａ」という。）の相続財産について、Ａの長男である共同相続人Ｂ（以下「Ｂ」という。）及びＡの次男である共同相続人Ｃ（以下「Ｃ」という。）との間で遺産分割協議を行い、以下のとおり合意したため、本書を２通作成し、各相続人が署名捺印の上、各自１通を保有する。

１　ＢとＣとは、別紙物件目録１及び２記載の物件（以下、併せて「本件不動産」という。）及び別紙預金目録記載の預金債権（以下「本件預金」という。）がＡの遺産であることを確認する。

２　Ｂは、Ａの遺産のうち、本件預金を取得する。

３　Ｃは、Ａの遺産のうち、本件不動産を取得する。

４　Ｃは、Ｂに対し、前項により遺産の多くを取得する代償として、金〇万円を支払うこととし、これを令和〇年〇月〇日限り、Ｂの指定する口座に送金して支払う。

５　ＢとＣとは、今後、新しい遺産の存在が判明した場合には、かかる遺産の分割方法について協議の上分割するものとする。

以　上

令和〇年〇月〇日

Ｂ
住　所
〇　〇　〇　〇　㊞
Ｃ
住　所
〇　〇　〇　〇　㊞

記入例：長男名義の預金が被相続人の財産である場合

物件目録

1　土地

所　　在　　○○区○○町○丁目
地　　番　　○番○
地　　目　　宅地
地　　積　　○○○.○○平方メートル

2　建物

所　　在　　○○区○○町○丁目○番地
家屋番号　　○番○
種　　類　　居宅
構　　造　　木造瓦葺２階建
床 面 積　　１階○○．○○平方メートル
　　２階○○．○○平方メートル

預金目録

○○銀行○○支店　普通預金　口座番号○○○○　名義人Ｂ
○万円(相続開始日の残高)

以　上